

心豊かで元氣あふれる村づくり

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

昨年は、1月11日に端を発する新型コロナウイルス感染症の猛威により、世界各地に感染が拡大し、感染者は7,000万人を超える危機的状況を迎えてしまいました。予定していた東京オリンピックも、1年の延期を余儀なくされたばかりでなく、開催をも危ぶまれる事態となつているところであります。

コロナの影響はあまりにも大きく、社会経済のみならず私たちの日常生活をも、一変させてしまいました。このような中で村では、これら感染症対策に地方創生臨時交付金を活用し、経済対策からあらゆる感染防止対策を講じて参りました。しかしながら、未だに国内外共に、このコロナ感染症は全く収束の目途が立っておらず、一日も早いワクチンの供給実現に、期待を寄せるものであります。

なお、村では引き続き、

本年も村民の皆様のお安全安心を確保するために、感染防止対策に万全を期して参りたいと考えております。一方、本村の明るい話題

村の部準優勝を成し遂げて頂き、勇気と感動を与えて頂いたところであります。選手は勿論のこと、関係者そして応援頂いた皆様に、



久保木正大 村長

Masao Kuboki

としましては、「第32回市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会」で今回も「最後まで諦めない精神」での努力が結集し、見事総合で11位

心から感謝申し上げる次第であります。本当にありがとうございました。本年も、どうか監督を中心に関係者一丸となって、

「村の部優勝」奪還を目指してくださいますよう、ご期待申し上げます。

今年は、健康増進・観光拠点の更なる充実のため、カントリーヴィレッジに足湯を建設すると共に、パークゴルフ場の一日も早い再開と、更に4コース目の造成に全力を挙げて参りたいと考えております。

本年も、人口減少対策を最重要課題との観点から、雇用対策、住宅対策、経済支援対策、教育対策に加え医療福祉対策などについて、積極的に取り組んで参りたいと思います。

さて、今年の干支は「辛丑（かのとうし）」です。干支は十干と十二支の組み合わせに60通りあるため、干支は60周期で循環します。次に丑年になるのは12年後の2033年ですが、次に「辛丑（かのとうし）」になるのは60年後の2081年になります。

「丑」という字は、手の指を曲げて物を握る様子を表した象形文字で、つかむ、

からむという意味があるということでもあります。中国の「漢書」では「丑」は曲がる、ねじるという意味を持ち、芽が種子の内部で伸びきらない状態を表しているそうです。もともと十二支は、植物が循環をする様子を表しており、「丑」は十二支の二番目で、子年に蒔いた種が芽を出して成長する時期とされています。丑年には、先を急がず目前のことを着実に進めることが、将来の成功につながるという言い伝えがあるので、冒険心をひとまず置いて、今年一年堅実に頑張ってみるのも一つかもしれません。

私たちも、気持ちを新たに職員と一丸となって、明るく住みよい「心豊かで元氣あふれる村づくり」を、着実に目指して参る所存であります。

村民の皆様のお益々のご繁栄とご健勝を、心からご祈念申し上げます。年頭のご挨拶といたします。

新年を迎えて

明けましておめでとうございませう。

令和3年の年頭にあたり、村民の皆様方に議会を代表して心からお慶びを申し上げます。

また、日頃から当議会に対し、暖かいご理解と絶大なご協力を賜り深く感謝申し上げます。

昨年は新型コロナウイルス感染症の流行拡大により新聞、報道等で連日感染者数の増加が報告されウイルスの脅威や生活の不安を感じる日々が続きました。

本村においても各種行事の縮小または中止。そして教育現場においては臨時休校や、運動会や発表会、修学旅行などの行事が縮小されるなど多大な影響を受けました。

日本各地においても都心部を中心に感染者数が増え

続け開催予定であった東京オリンピックの延期等、各地の歴史ある祭事や大会、イベントも相次ぎ中止となりました。



鈴木清美 議会議長

Kiyomi Suzuki

我が国においては、子どもから高齢者まで全ての世代の命を守るべく、「3密を避ける」「マスクの着用」「換気」など予防を徹

また県をまたいでの移動の禁止など不要不急の外出の禁止、海外への渡航禁止等、行動の制限を余儀なくされました。

底しています。令和3年においても新型コロナウイルス感染症対策は最重要課題となっており、早いワクチン接種が待たれ

る状況です。コロナ禍においても村民の皆様が安心、そして安定した生活が送れますよう引き続き、皆様の声を行政へ届け、行政と共に懸命に努力して頑張っていきたいと考えております。今後とも村民の皆様のご協力をお願いしたいと存じております。

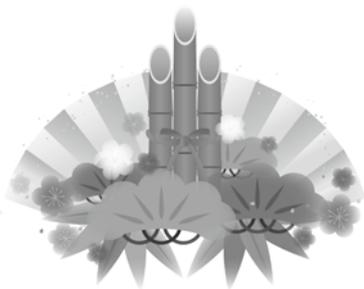
令和3年は待ちに待った東京オリンピックが開催される希望の年であります。これを機に新型コロナウイルスに打ち勝ち、希望の持てる泉崎村、若い世代の方々にも魅力のある泉崎村、活力のある泉崎村、そして周りに誇れる泉崎村を実現していくことが何よりも肝要であると考えます。

本年の干支は丑年です。丑年に例えられる動物が牛で、勤勉でよく働く姿が「誠実さ」を象徴し、古代

から人間に無くてはならない存在でありました。

私たち議会も牛に負けないうよう勤勉で誠実を心掛け、村民の皆様から信頼される議会を目指したいと考えております。今後とも皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

結びに、皆様の限らない未来が健康で幸せ多きことを祈念いたしました。新年のごあいさついたします。



年頭にあたり

令和三年 明けましておめでとうございます。

輝かしい新年を迎え、穏やかにお過ごしのことと思えます。新年にあたり今年一年が皆様にとって素晴らしい年となることを祈念いたします。

一、過去一年から学ぶ趣ること

令和二年、大きく社会が変化した年でもありました。新年早々からの新型コロナウイルス感染拡大の対策に追われた年でした。感染予防の観点から多くの行事の見直しや中止や変更を余儀なくされました。皆様の周囲では、職業により大変なご苦労をされた方。未だ、解決しないままの状況が継続しておられる方もいらっしゃるかもしれません。一刻も早く、改善の糸口が見つかることを心より願っています。

さて、このような困難な時であるからこそ今まで気づかなかつたこと、改善しなければならぬことがあります。

- ・長い年月をかけて築き上げた伝統や前例を見直す機会となったこと
- ・大人も子どもも初めての経験。大人の生き姿が子どもの成長に影響すること
- ・人と人とのコミュニケーション

す。仕事の分野では、テレワークが進み、効果的な時間の活用が図られています。本村の小中学校でも一人一台のタブレットが整備されました。ICT機器は一人ひとりの学びに対応でき、



鈴木一正 教育長

Kazumasa Suzuki

シヨンや交流が一層重要であること

二、ICT機器の効果的運用

急速に進んだ環境の変化に情報機器の導入がありま

占有されない力が求められます。地域で「メディアコンテンツロール力」を養う運動を展開します。ICT機器の適切な活用と人と人との直接的なコミュニケーションが子ども達の成長に豊かな恩恵をもたらします。

三、家庭、地域、学校の相互連携

「少子化」への対応が求められています。一学級の児童数、学級数の変化は、教育活動にメリットとデメリットがあります。この課題への対応として、令和二年度より家庭や学校、地域の方との関わりで子ども達を育むコミュニケーション（学校運営協議会）を設置しました。すでに学校教育活動に多くの地域の方々に協力をいただいています。今後、子ども達の教育環境をどのように整備していくのか各校に整備された学校運営協議会でも議論を進めてまいります。自力解決できること、皆さんの協力をいただくことを明確にし、

お知らせする予定です。コミュニケーションスキルの本格的な運用の年、歩みはゆっくりでも確実に進む教育活動を目指してまいります。

四、生き生きと学び、活動できる環境づくり

豊かな自然、歴史文化、施設が整っている本村では、その活用の仕方と活用する年代層の拡大が大切です。子どもに限らず大人が生き生きとする生き方。同年代の交流から多様な世代が交流しふれあう環境づくりが求められています。スポーツ、趣味、教養等できることから積極的に取り組むことをサポートいたします。

本文頭に申し上げましたが、前例や既成を大切にしつつ、創造的な取り組みに支えられた「村民手作りの教育」推進の一年にしてまいりたいと思えます。ご理解とご協力をお願いいたします。